

SDGsをもっと身近に感じてもらうため、1月に発足した「市SDGs推進協議会」加入団体の取り組みを紹介します。

☎ SDGs推進室 (内線 421)



## 男女共同参画プラン推進委員会

### ■どんな団体？

男女共同参画プランの推進に関する施策の策定や、進捗を確認するための委員会。関係団体の代表者、関係行政機関の職員など、市民を代表する委員で構成されています。

### ■何をしているの？

男女共同参画の意識づくり、環境づくりなどについて話し合います。委員会での意見を基に、市全体への取り組みにつなげています。



### 関連するSDGsの目標

#### 目標5

ジェンダー平等を実現しよう



性別にかかわらず一人一人が個性と能力を発揮できる社会にしよう。

### SDGsの取り組み

- 市が主催する審議会などの会議で、託児が可能になりました
- 小中学校の女子トイレに、生理用品が設置されました

子育て世代も参加しやすくなるね

女性特有のストレスや不安が減って安心して過ごせるよ

## 恵那暮らしビジネスサポートセンター だより

Ena City Life Business Support Center

ビジネス相談も、移住相談も、もっと便利に /

## 営業日と相談窓口が変わります

4月から

オープンから5年。さらに利用者のニーズに応え、市内事業者を応援するため営業日と相談窓口を変更します。引き続き、センターをぜひご利用ください。

1

### 営業日の変更

平日に相談したい事業者のニーズに応え、月曜日を営業日に。

現在 営業日：火～日曜日 (月曜日休み)

4月以降 営業日：月～土曜日 (日曜日・祝日休み)

2

### 相談窓口の変更

移住の相談や補助金申請、空き家の見学などを、市役所に一本化。

センター ▶ ①ビジネス相談 ②経営支援 ③就職相談

市役所 ▶ ①移住相談 ②空き家バンク ③補助金申請



☎ 恵那暮らしビジネスサポートセンター 恵那市大井町 206-5  
☎ 26-2266 (午前9時～午後5時・月曜定休) ✉ info@enalifebizsupport.jp



## 恵那の水は どうやってできる？ 水道水を作る施設、大崎浄水場



▲ろ過装置が並ぶ。水は全部ここを通過していくよ

水道の蛇口をひねると当たり前のように水が出るよね。そんな水がどうやって作られているのかわかりたくて、水道水を作る施設、大崎浄水場に行ってきたんだ。市内には、浄水場が26カ所あるよ。中でも大崎浄水場は、1日で約7千戸分の水道水を作る市内最大の浄水場なんだって！  
ここでは、阿木川から水を取り入れて、水道水に変えているよ。川の水は、まずごみを取り除く機

械に2回通されてから、ろ過装置に入るんだ。装置の中には2万4千本もの糸状の膜があって、ウイルスや細菌類だけが膜に残されるんだって。きれいになった水は消毒されて、カビ臭やマンガンなどを取り除く機械にも通されて、やっと水道水になるんだ。できた水道水は「配水池」というタンクに貯蔵されているよ。蛇口をひねると、配水池から水道管を通過して水が出るんだね。こうして浄水場で作っている水道水と、県から購入した水道水が、みんなの家に配られているよ。水は私たちの生活に欠かせない貴重な資源。これからも、みんなと一緒に大切に使おうね。



▲最後に臭いなどを取り除く

☎ 上下水道課 (内線 216)

## 物知り先生のふるさと情報 (佐藤一斎生誕250年)

## 佐藤一斎生誕250年を振り返って

NPO法人いわむら一斎塾 鈴木隆一さん (岩村町)

昨年、佐藤一斎生誕250年を記念する年でした。これに併せ、9月には「恵那人による音楽祭」、10月には26回目を迎えた「言志祭」佐藤一斎まつり、11月には「嚶鳴フォーラムin恵那」が開催されました。いずれの機会も、生誕を祝うとともに、今に生きる「言志四録」の教えを再確認することができました。いむら一斎塾では実行委員会を組織し、佐藤一斎顕彰会とタイアップして、年間を通じて記念事業を行いました。書籍『今に生きる佐藤一斎とその教え』の発行、Tシャツや版画の作成、岩邑中学校3年生が考案した記念品の作成の他、「言志四録」の言葉を江戸文字で書く体験イベントや市民講座「秋のいわむら散策と碑文めぐり」、特別公開講座「佐藤一斎を学ぶ意



▲記念品のボールペン、もなか、湯飲み、皿

義一斎の生きた時代と与えた影響」を開催しました。作成した物品は、音楽祭や言志祭、嚶鳴フォーラムなどで販売も行いました。さて、本市は「生涯学習」と「健幸」を目指したまちづくりに取り組んでいます。スポーツと食で体を、学びで心を養い、健康寿命を延ばそうという施策です。心身両面からのまちづくりを進める恵那市。生涯学習都市を宣言してから10年以上が経過しましたが、その成果は、皆さんいかがでしょうか。  
生涯学習のねらいは、学んで生かすことです。学校での勉強だけが学びではありません。私たちは「生きる」ために学ぶのです。本から学び、人から学び、経験から学ぶのです。佐藤一斎の「少にして学べば、則ち壮にして為す有り。壮にして学べば、則ち老いて衰えず。老いて学べば、則ち死して朽ちず」という究極の言葉を生かして、住み良い恵那市を目指したいものです。

(佐藤一斎生誕250年記念連載終わり)